



特定非営利活動法人

アジア・アフリカと共に歩む会

南アフリカ共和国貧困地域への教育支援

TAAAの活動日誌 2005年

- ・ 2005-12-31 [移動図書館車 京浜港搬入作業](#)
- ・ 2005-7-31 [講演とワークショップ「南アフリカの子どもたちに応えて」開催](#)
- ・ 2005-3-21 [活動報告](#)
- ・ 2005-2-28 [NHKが報道 南ア教育大臣が移動図書館を評価](#)
- ・ 2005-2-1 [2004年～2005年の活動](#)

2005年12月31日

移動図書館車 京浜港搬入作業

2005年12月26日、南ア・ダーバンへ向けて移動図書館車4台を搬送。

4台同時に搬送するのはTAAA始まって以来の作業です。浅見さん、北爪さん、武藤さん、私（関根）の4人で搬送することになりました。A.M.8:00に4人が浦和駅に集合し、移動図書館車が保管されている駐車場へ向かいました。浦和という住宅の密集した地域では4台も駐車スペースを確保するのは困難であることは容易に想像でき、だからこそ一気に4台を搬送しなければなりません！浅見さんから京浜港までのルートと搬入場所が書かれた地図が配られ、各自が運転していく移動図書館車のキーを手渡されます。自分が運転していく移動図書館車の前に立ち、概観をみるととても綺麗な車です。車内に入ると内装も汚れがなく、「これなら南アでもしっかり働いてくれるな！」という期待が湧いてきます。よし、エンジンスタート！とキーを回してみると私の車だけピクリともしません。バッテリーがあがってしまいました……。ブースターケーブルを取りに戻るハプニングがありましたが、気を取り直して4台が京浜港へ向けて発進！

4台が浦和の駐車場を出発し、近くのガソリンスタンドで給油をすませました。ルートでは外環にのる予定です。外環の川口中央インターに入ってすぐに、またやっしまいました。川口ジャンクションでS1（川口線）に行かなければならないところを、先頭を走っていた私がうっかり見過ごしてしまいました！バックミラーで武藤さんの車を見つつ「スイマセン！」と思いながら、外環を大回りして進んでいきます……。三郷ジャンクションから首都高に入り、すぐに八潮パーキングへ。ルートを間違えてしまい謝りつつ、再度ルートを検討します。どうやら大したロスにならずに済んだ様でホッとしました。小休憩後、首都高を走って湾岸線へ進みます。途中、渋滞につかまりましたが、羽田を通りすぎ大黒ふ頭の看板を目にして「もう少し！」と焦る気持ちとスピードを抑えます。大黒ふ頭出口から高速道を降りると、目の前に京浜港が。ゲートにくぐって入港の書類を書き、ついに到着しました！



京浜港に到着した4台

出航予定は、この報告を更新している今日12月31日。ダーバンへの到着予定は2006年1月19日。約3週間の航海です。京浜港に到着したときは昼休み中で、港は静かなものでした。搬入手続きは昼休みが終わってから午後1時からということで、港の中をフラフラと歩いていました。移動図書館車が積まれる船はまだ港に入ってきていないようでしたが、周り一面に国産車がどこかへ輸出されるために整然と並んでいました。それらの車の目の前に、ビルと思っていた建造物がよく見ると船であったことにびっくりしました。こんな船に載って南アに行くのか・・・。



車を運ぶ巨大な船（写真：商船三井提供）

巨大な船で輸出入されている現場を目の当たりにして、日本と海外は近くなったのだなあと思う思います。普段何気なく買い物している野菜や果物、紙の原料になる木材など海外から様々なものを輸入しています。大量にモノを仕入れられることは便利で良いこととは思いますが、大量にモノを消費し大量のゴミを出してしまう社会になってしまったのだなと心配にもなります。無事、搬入された移動図書館車4台は日本でスクラップにならず、南アで元気に走り回り活躍してくれることを願います！！

文・関根

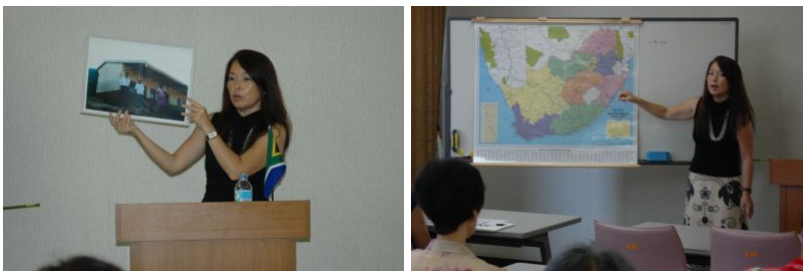
[▲トップへ](#)

2005年7月31日

講演とワークショップ「南アフリカの子どもたちに応えて」を開催

2005年7月31日14時より、埼玉県労働会館3階第4会議室（さいたま市浦和区）にて、講演とワークショップ「南アフリカ（以下南ア）の子どもたちに応えて」を開催いたしました。講演については、南ア連絡員の平林薫を迎えて定期的を開催しておりますが、今回は新しい試みとしてワークショップも合わせて実施いたしました。

第1部の講演では、南アの状況、移動図書館の運行、子どもたちや教師の反響、独立行政法人 国際協力機構（JICA）との共同事業（HIV/AIDSピア教育プロジェクト）を中心に話が進みました。現在南アは民主化して11年になりますが、大多数の黒人は厳しい生活を余儀なくされています。特に教育についてはかなり遅れていますが、TAAAを通じて日本から贈られた英語の本や移動図書館は大変貴重なものであり、現在はハウテン州、クワズルーナタール州、西ケープ州の3州で活用されています。今後も州の教育省を巻き込んでいくことで、全9州への着実な展開を目指しています。



活動報告をする平林さん

第2部のワークショップでは、TAAAの支援地域と似た状況にある地区を想定し、課題の洗い出しと解決策を話し合いました。まず、参加者にそれぞれ付箋が配られ、思いつくままに課題と解決策を記述していきます。次に、それをホワイトボードに貼り出して分類します。その結果、「インフラ」「産業・農業」「教育」「保健・医療」「コミュニティ」に分けることができました。参加者各自はそれぞれ興味のあるカテゴリーごとにグループとなり、地域改善の糸口となるようなストーリーを編んでいきます。最後にグループ代表が発表しましたが、“それぞれのテーマは関連がある”、“やはりお金が必要”といった共通認識がありました。



前日ケープタウンから帰国したばかりの武藤さん

今回の報告会は、講演とワークショップを組み合わせることで長時間となりましたが、いくつか利点がありました。第1に、講演で得た知識をワークショップの話し合いでさらに深めることができたこと。第2に、参加者同士のコミュニケーションが活性化したこと。第3に、今後TAAAが南アで活動を継続するにあたってヒントとなるようなアイデアが出たことです。次回の報告会は

2005年10月初旬を予定しています。ぜひお誘い合わせの上お出ください。そして、南アの子どもたちのため、引き続きTAAAへのご支援をよろしくお願いいたします。

以上

文・丸岡晶さん

写真・田所誠三さん

[▲トップへ](#)

2005年3月21日

「3月20日（日）作業とミーティングの報告」

今回の参加メンバーは8人。高校1年生の金沢さんも元気に入ってきた。1月の「TAAA報告会（於：北浦和）」に参加してくれたことがキッカケで、作業に来てくれるようになった。平均年齢もグリーンと下がり、とても活気づく。午前中の作業は、さすが8人だけあってかなりの成果。

ここで、「作業」の説明をします。全国の皆様より、お寄せ頂いた英語の本を別のダンボール箱に詰め直すことを「作業」と言っています。毎月1回、作業日の朝10:00。ちらほらと集まったメンバーは、まず倉庫に保管されているダンボール箱を作業場へと運び出す。そして中の本を、絵本・小説・学習教材の本・百科事典などに分けて、自分の周りに積み上げていく。この時点で足の踏み場も無いくらい。なるべく、同じ種類の本を1つの箱に入れるよう心がけている。絵本なら100冊以上入ることもあるし、百科事典なら7～8冊。隙間ができた時は単行本で上手に詰めていく。1箱の重さは、18キロ前後。箱の側面に、本の冊数と重さ、そして「For Durban」など行き先が書かれた紙をベタッと貼って、長い船旅のスタンバイ。

本の数を数えているので、みんな黙々と一生懸命。そんな中を見計らって、副代表の浅見さんはいつもみんなを楽しませてくれる。みんなの顔が笑顔になって笑い声が広がる。少しの間、楽しくて重要な小休止の時間。これが、私達の「作業」です。



和むメンバーたち

宅配のお弁当が届き、待望のお昼。ルイボスティーで、まず喉を潤す。昼食を取りながら、少しずつミーティングに入る。今回のミーティングは、TAAAのHPについて。魅力のある楽しいHPにしていこうと、1ページずつ考えてみた。インターネットから寄附のできるGambaNPO.netで紹介されているTAAAの記事についても同様。TAAAらしさが出ていて、皆さんに好感を持って頂けるようなHPとなるよう、いつもより少し長めの3：30頃まで話し合いが続いた。

最後に、HPに載せる予定の集合写真を撮って（大騒ぎ！）今回の作業は終了しました。皆さん、お疲れ様でした。

西村 裕子

[▲トップへ](#)

2005年2月28日

2005年2月14日、南アのバンドール教育大臣が訪日し、TAAA代表の野田と会談しました。
この様子はNHKでも大きく取り上げられ、ニュース番組「おはよう日本」で紹介されました。



来日したバンドール南ア教育大臣と握手を交わす
TAAA野田代表、写真中央は蓮沼さん

[▲トップへ](#)

2005年2月1日

2004～2005年の主な活動を紹介します。

2004年

- 1月 南ア連絡員帰国活動報告会
- 2月 JICA委託事業南アHIV/AIDSピア学校教育ワークショップ
- 2月 南ア各州図書館会議に出席
- 2月 会報「自由南アフリカの声」34号発行
- 3月 南ア・デベトンの現地NGOに英語の本3822冊を送付
- 2月～4月 インターナショナルスクールより本引取り
- 5月 南ア・ピア学校教育を行なう学校を南ア駐在連絡員が訪問
- 6月 会報35号発行
- 7月 富士見市より寄贈の移動図書館車を再整備する
- 7月 河合塾が呼びかけて収集した英語の本31985冊を南アへ送付
- 8月～9月 TAAAより南ア・3州を訪問
- 9月 国際協カフェスティバルに参加
- 10月 会報36号発行
- 10月 南アにて移動図書館プロジェクト会議
- 10月 移動図書館車を南ア・デベトンのNGOへ送付
- 11月～12月 南アにて移動図書館プロジェクト答申書作成
- 12月 関東の移動図書館98館にアンケートを送る
- 12月 南ア在住連絡員、一時帰国

2005年

- 1月 活動報告会
- 2月 野田市より移動図書館車の寄贈を受ける。再整備。
- 2月 訪日中の南ア教育大臣と会見
- 2月 NHK「おはよう日本」で活動が紹介される。

[▲トップへ](#)